

▶基調講演者

●都市ブロック大会

武田 啓 氏 株式会社 OTERA 代表取締役



関西学院大学商学部在学中に僧侶資格を取得し、実家の寺院で僧侶として活動。

卒業後はスタートアップ支援企業にて法人営業に従事し、スタートアップの共創支援に携わる。

その後、株式会社 OTERA を創業し、高齢者支援を中心に、持続可能な地域社会と寺院の新たな在り方の実現に取り組んでいる。

●北海道ブロック大会

北村 もあな 氏 Floatmeal 株式会社 代表取締役 CEO



日本人の両親のもと、ニュージーランドで生まれ、オーストラリアで育つ。東京学芸大学附属国際中等教育学校を卒業後、北海道大学水産学部へ進学。「もあな」はニュージーランドの先住民マオリの言葉で「海」の意味。あこがれの北海道で、海について学んでいくうちに、環境問題への関心を持つように。大学で出会った仲間達と共に次世代の食資源を開発すべく起業することを決意。

●東北・北陸ブロック大会

加藤 広大 氏 amu 株式会社 代表取締役 CEO



1997 年生まれ、神奈川県小田原市出身。二松学舎大学文学部在学中、授業の一環で初めて宮城県気仙沼市を訪問したことをきっかけに、気仙沼の魅力に惹かれる。

史上最年少で、株式会社サイバーエージェントに入社し、番組プロデューサーとして活躍。

2019 年に気仙沼へ移住。港町である気仙沼で過ごす中で、「廃漁網」の問題に着目し、アップサイクルによる再資源化に挑戦するため、2023 年 5 月に amu 株式会社を設立する。同

社では、漁師から回収した廃漁網を高品質なナイロン素材へと再生し、アパレル製品も展開している。2025 年に実施したクラウドファンディングでは、目標額 1,000 万円に対し、最終的に 1,234 人ものサポーターから 1,220 万円を超える資金を集めた。また、同年に「第 26 回グリーン購入大賞」大賞・経済産業大臣賞を受賞し、廃漁網という地域課題を起点に、持続可能な未来を創り出す存在として、さらなる注目を集めている。

アジアを代表する 30 歳未満のリーダーを選出する「Forbes 30 Under 30 Asia 2025」の企業家部門に選出され、国内外から高い評価を受けている。

●東海・中国・四国ブロック大会

間瀬 雅介 氏 株式会社 REMARE 代表取締役



1993 年愛知県生まれ 航海士・機関士として日本沿岸から南極海にわたる航路に従事するなかで、海洋上に漂流するプラスチックごみの実態と継続的に向き合った。「人工物を地球上にどのように存在させ、循環させるべきか」——この問いを起点として、廃プラスチックの再資源化事業に取り組む。2021 年、株式会社 REMAR を設立。海洋付着物の除去技術および複合プラスチックの板材化技術を独自に開発し、従来は再利用が困難とされてきた廃棄プ

ラスチックの再資源化を実現した。現在は、地政学的にプラスチックが集積しやすい三重県鳥羽市を拠点に、事業を展開。自動車端材やこれまで難処理材とされてきた産業廃棄物への展開を進めるとともに、プラスチックの炭化によって生じる熱エネルギーの農業利用および工業用ダイヤモンドの生成など、廃材を高付加価値資源へと転換する研究開発を推進している。素材の循環を産業として確立することを目指し、その事業領域を継続的に拡大

している。

●九州ブロック大会

上本 絵美 氏 株式会社フェイガー 執行役員 CSO



早稲田大学第一文学部を卒業後、株式会社リクルートに入社。世の中の「不」(お困りごと)を会社の力で解決する仕事を目指して 20 年間広告の営業に関わる。

2022 年より株式会社フェイガーに参加。創業間もない時期に社長の石崎から「食を支える生産者が評価されない、フェアでない状況を脱炭素で解決したい。一緒に挑戦してほしい」と誘われ入社を決める。以降、カーボנקレジットという言葉がまだ認知されていない時代

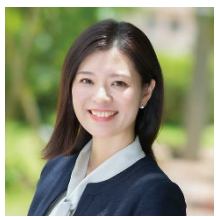
から、「農業の脱炭素に企業がお金を出す」仕組みを模索し続ける。

カーボנקレジットや脱炭素経営をテーマに、これまで 100 回を超えるセミナーやピッチに登壇。累計 2,000 社以上の企業に、制度や市場動向、地域共創の可能性について発信してきた。自治体、教育機関、企業向け講演実績も多数有する。

企業との対話を通じて、カーボנקレジットの理解促進と普及を推進。企業の脱炭素ニーズと地域・生産者の取り組みをつなぐ立場として、持続可能な地域づくりと農業支援の実現に取り組んでいる。

●沖縄ブロック大会

福島 知加 氏 株式会社ワダチラボ 代表取締役



沖縄県中城村出身。高校時代の大きな体験が人生の転機となり、かねてから憧れていたディズニーのキャストへ応募。そこから、可能性の扉が開きはじめる。新卒で入社した大手教育関連企業では、個人売上が”全国最下位”からのスタートだった。それでも、自分を信じてくれる上司や環境に支えられ、全国 1 位を 3 度受賞するまでに成長する。この経験から「人は、関わり方で必ず変わる」と確信。その後、未経験でチャレンジした IT ベンチャーの人事職

では、定着率の向上や採用の強化に貢献し、3 年で社員数を 2 倍に拡大する。2017 年、「誰もが可能性を信じられる社会づくり」を掲げ、人事コンサルティング・企業研修を手がける株式会社ワダチラボを創業。今も現場に立ち続ける伴走者として、これまで全国 500 以上の組織、3 万人以上の挑戦に寄り添ってきた。会社経営の傍ら、金沢工業大学大学院で「関わりと仕組みで人がどう変化・成長するのか」を研究している。二児の母。

【第6回 SB Student Ambassador ブロック大会の様子】

▼2025 年 11 月 9 日 北海道大会(札幌)の様子



▼2025 年 11 月 15 日 中国大会(広島)の様子



▼2025 年 11 月 16 日 西日本大会(大阪)の様子

